

青山学院大学大学院

年度	2025
研究科	会計プロフェッション
専攻	プロフェッショナル会計学
課程	博士後期
入試種別	一般入試
試験科目	会計学
科目詳細	
解答区分（該当に○）	解答 ・ 解答例 ・ 評価基準 ・ 具体的な出題意図 ・ <u>解答のポイント</u> ・ 略解

(1) ガバナンスと内部統制とリスクマネジメント（とくに全社的リスクマネジメント）の関係については、概念や制度、実務を検討する際に重要な前提となる。COSOや金融庁企業会計審議会（内部統制部会）においても、同様の関係性の整理が示されているところであるのでそれを回答することでも良いし、それから離れて、その関係性に関する自らの問題意識を説明することでも良い。

(2) 非営利組織は分野ごとに様々な組織形態がある。それらについて何をどのように理解しているかを確認するために、ガバナンスの部分について焦点を絞って説明することを求めた。

(3) 非営利法人には多くのステークホルダーが存在している。ここでは非営利法人のうち、学校法人について取り上げているが、いかなる形態の非営利組織であっても検討すべき点はどのようなものであって、回答者がいかなる要素に重点を置いて、その影響をどう考えるかという、ガバナンスの考え方を問う設問である。